

奈良文化財研究所 創立60周年記念 日中韓国際講演会

日中韓 古代都城文化の潮流

奈文研60年 都城の発掘と国際共同研究

奈良文化財研究所 編

新刊案内

よろしくご検討お願い申し上げます

(株) クバプロ



A5判並製 194頁(カラー2頁)

発行日：2013年10月予定

本体価格2,000円+税

ISBN978-4-87805-132-6 C1021

ジャンル：日本古代史(都城)

中国・韓国都城、歴史読み物

飛鳥・藤原京、平城京のルーツを探る!!

漢魏洛陽城・銭 国祥氏(中国社会科学院考古研究所)、
新羅王京・黄 仁鎬氏(国立中原文化財研究所)をまじえ、
古代都城文化の成立に迫る。その結果は?

巻末には60年の歴史を振り返る貴重な写真を掲載。

また、東京開催の奈文研60周年記念講演会を収録した
『遺跡をさぐり、しらべ、いかす』も9月発行!!

■目次■

はじめに

奈良文化財研究所所長 松村 恵司

飛鳥から藤原京そして平城京へ

埋蔵文化財センター遺跡・調査技術研究室長 小澤 毅

出土文字資料からみた平城京の役所と暮らし

都城発掘調査部史料研究室長 渡辺 晃宏

漢魏洛陽城の北魏宮城中枢南部の共同調査

中国社会科学院考古研究所研究員 銭 国祥

新羅王京の都市構造と発展過程

国立中原文化財研究所 学芸研究室長 黄 仁鎬

ディスカッション—国際共同研究事業の紹介・質疑応答・講評—

■付 記■

新羅王京の都市構造と発展過程 黄 仁鎬(原文)

漢魏洛陽城の北魏宮城中枢南部の共同調査 銭 国祥(原文)

写真で見る奈文研の60年史—都城の発掘と国際共同研究—